

エレクトロ  
ニクス

## スマートフォン用Board to Boardコネクタ FB35AFシリーズ

9 産業用電子機器の  
標準化への取り組み



12 工場生産  
の自動化

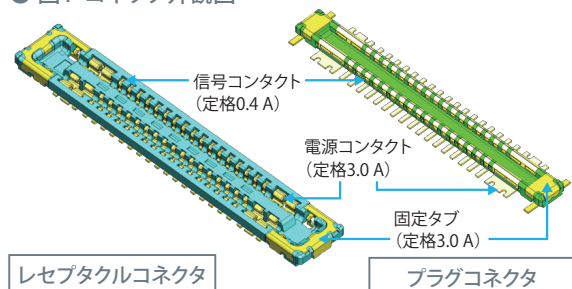


スマートフォンやモバイル機器は、高機能化が進み、コネクタにおいては大電流化・小型化・軽量化が求められています。当社はこの要求に対し、両端に電源用固定タブを設けたBoard to Boardコネクタ/FB35シリーズを商品化し、お客様からご好評をいただいています。

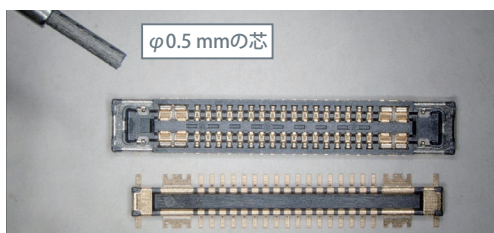
そして今回、更なる大電流化・小型化を追求し、嵌合高さ

0.5mm、幅1.8mmの大電流用小型Board to Boardコネクタを開発しました。定格電流0.4Aの信号コンタクトに加え、3Aの固定タブ2端子、さらには3Aの電源コンタクト4端子を配置(図1)しています。なお、固定タブは高電流対応だけでなく、コネクタを補強する役割も兼ね備えており、嵌合時の破損を防止します。

● 図1 コネクタ外観図



● 図2 外観



● 仕様

	現行品	新製品
シリーズ	FB35AB	FB35AF
嵌合高さ	0.6 mm	0.5 mm
ピッチ	0.35 mm	
幅	1.8 mm	
定格電圧	AC 30 V (r.m.s.) / DC 30 V	
定格電流	信号コンタクト: 0.4 A/pin 電源コンタクト: 3.0 A/pin 固定タブ: 3.0 A/pin	
耐電圧	AC 200 V (r.m.s.) / 1分間	
絶縁抵抗	DC 200V 100MΩ以上	
接触抵抗	信号コンタクト: 30 mΩ以下 電源コンタクト: 20 mΩ以下 固定タブ: 20 mΩ以下	
使用温度範囲	-40 °C ~ +85 °C	
芯数	信号コンタクト: 16	信号コンタクト: 34
	電源コンタクト: 4	固定タブ: 2

コネクタ開発一部

[ddk.contact@jp.fujikura.com](mailto:ddk.contact@jp.fujikura.com)

エネルギー  
情報通信

## 1310nm帯用小曲げ対応PANDAファイバ

9 産業用電子機器の  
標準化への取り組み



12 工場生産  
の自動化



当社は、小型化が進む光伝送装置からの要求に応え、曲げ半径5mmで偏波クロストーク特性が維持される1310nm帯用PANDA\*1ファイバ(製品名: BIR5-13-PX-U25D)を開発しました。

本ファイバは設計の最適化により、波長1310nm帯での偏波クロストーク特性が小さい曲げ半径でも維持されます。今後も特殊ファイバ技術を生かし、社会に貢献する製品の開発を進めていきます。

\*1 PANDA (Polarization-maintaining AND Absorption-reducing) 型は偏波保持光ファイバの代表的な構造です。偏波保持光ファイバには、伝送光の偏光状態が外乱の影響を受けにくいという特長があります。

● 開発品と現行品の特性

	現行品	開発品
最小曲げ半径[mm]*2	20	5
曲げ偏波クロストーク[dB]	—	-30以下 (曲げ半径5mm×10巻)
MFD(モードフィールド径) [μm]	9.0±0.5	7.8±0.5
クラッド径(長径) [μm]	125±1	125±1

波長は1310nm帯です \*2 光学特性のみ保証

光ファイバ事業部

[optodevice@jp.fujikura.com](mailto:optodevice@jp.fujikura.com)